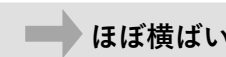


## 業種別の動向

前月と比べたDI値の動き



**長引く仕入価格や労務費の高騰に、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・資材価格の上昇や調達困難化が重なり、悪化。引き続き人手不足による供給制約を指摘する声も聞かれている。**

- 「労務費高騰や人手不足に加え、中東情勢の緊迫化によるサプライチェーンの寸断が深刻である。ナフサ系の石油製品の供給不安に伴い、住宅設備メーカー各社による新規受注停止や生産調整が相次いでいるほか、プラスチック樹脂や塗料といった基幹資材が調達困難化している」(一般工事業)
- 「引き続き現場作業員の人手不足が続いている。作業員の高齢化の進展もあり雇用の確保が喫緊の課題」(防水工事業)



**中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・原材料価格の上昇や調達困難化の影響を受け、悪化。先行きについて、影響の長期化による操業停止や設備投資需要の減退を懸念する声が散見された。**

- 「重油や包装材などの価格が急騰しており、今後、他の原材料にも影響が出ることが予想されるが、業界の商慣習により、次回の価格転嫁は10月以降となる。価格改定が到底追いつかない中、利益率の低下をどのように乗り切っていくか大きな課題である」(水産食料品製造業)
- 「塗料など石油由来の原材料が納品されない。現状、在庫でしのいでいるが、事態が長期化すると操業を止めなくてはならない」(一般産業用機械)



**設備投資が堅調に推移する中、気温上昇に伴い春物衣料の引き合いが増加し、改善。一方、中東情勢の緊迫化に伴う調達困難化や消費者の節約志向の高まりを懸念する声も聞かれている。**

- 「石油関連商品の品不足および値上げが著しい。梱包資材にも影響が出ており、売るのがない・材料不足で商品が作れないなど、商売に大きな障害となっており、先行きは厳しい状況になりそうである」(一般機械器具卸売業)
- 「中東情勢の緊迫化で直接的に影響を受けるわけではないが、消費者の節約志向の高まりによる購買意欲の減退が懸念材料である」(酒卸売業)



**燃料価格上昇に伴う消費者の節約志向の高まりから、百貨店を中心に生活必需品以外に買い控えが見られるほか、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・仕入価格の上昇や調達困難化が重荷となり、悪化。**

- 「生鮮食品を取り扱う当店ではゴム手袋が衛生上必須であるが、仕入先が医療従事者優先での供給に切り替えており、入手困難化している」(百貨店)
- 「当社商品はプライベートブランド商品でプラスチック製品が多いが、原料メーカー各社による一斉値上げ通知や供給制限等により、価格高騰が収まらない。これ以上値上げすると顧客離れにつながる恐れがあり、不安を感じている」(機械器具小売業)



**気温上昇に伴う行楽需要の拡大等により飲食店を中心に客数が増加した一方、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・仕入価格の上昇が足かせとなり、ほぼ横ばい。**

- 「行楽シーズンとなり、スポーツ大会等の開催に伴ってお弁当の販売量が増加している」(飲食店)
- 「エネルギー価格の高騰やサプライチェーンの混乱により、利益率が急激に低下している。近隣にホテルチェーンが進出し、価格競争が激しくなっていることから、販売価格への転嫁は困難である」(旅館)